

未来へ(東中だより)

第15号 令和3年12月24日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/

小さな花をつみかさねて 2学期終業式の話から

寒いこの冬にも、校内には美しい花が咲いています。ツバキとサザンカです。(ツバキは校舎のすぐ南、職員室から見えるところに、サザンカは南の校門から入った右手に咲いています。)

ところで、多くの花が春や夏に咲くのに、どうしてツバキやサザンカは虫のあまり飛んでこない冬に花を咲かせるのでしょうか。調べてみると、これらの花は、虫ではなく鳥で受粉をする鳥媒花だからだそうです。メジロやヒヨドリなどの鳥が、餌である木の実の少なくなったこの時期に、花の蜜を吸うためにやってきて、そのことによってツバキやサザンカは実を作り、種を残すことができるというわけです。競争相手の他の花が少ないこの時期を選んで咲くことは、生き残ろうとするツバキやサザンカの知恵と考えることができます。

私たち人間にも花を咲かせる時期があります。多くの3年生にとっては、3月ということになるかもしれませんが。1年生、2年生にとって、その時期はいつになるのでしょうか。ある生徒にとっては、部活動の次の大会かもしれませんが、ある生徒にとっては次の発表会かもしれません。またある生徒にとっては、授業の一コマかもしれません。

つまり、花の大小はあるにせよ、「人間にはいつだって、どこにだって、花を咲かせるチャンスはある」ということです。小さな花すなわち小さな成功体験を積み重ねていきましょう。ちょっと難しいことやつらいことがあっても、その分ちょっとだけ我慢をしたり勇気を出したりして、小さな花を咲かせましょう。それは自信となり、次の大きな花につながります。

さて、京都清水寺で書かれた今年の漢字は「金」でした。

この1年で自分が頑張ったこと、自分の成長した部分に「金」メダルをぜひあげてください。そして、気を引き締めて1年を閉じ、節目を迎えてほしいと思います。



ツバキ



サザンカ

生徒による人権ウィーク

12月10日(金)～16日(木)は本校の人権ウィークでした。生徒の実行委員会と人権・同和教育担当がコラボして、「だれもが認められ、大切にされる社会」のために以下のような取組を行いました。

①学級討議…クラスの再点検と行動目標決め

②人権放送…ラジオ番組「明日への伝言板」

③読み聞かせ…ましろの会の方々に、人権に関わる題材の絵本を選んで、読んでいただきました。

④人権集会の開催

・人権標語…11月に書いた人権

標語をPTA役員に選定していただき、入賞作を紹介しました。

・人権作文…各学年1名による朗読

1年 池田和香「いじめとむきあって」

2年 安藤由芽「いじめについて」

3年 小瀬一輝「感染と偏見」

・人権についてのアンケート結果報告

…生徒会役員による生徒の意識の分析報告

・クラスの行動目標発表

・「いじめ防止宣言」…全生徒による唱和



<人権標語 校内入選> (3年生)

- やめようね 見て見ぬふりは いけないよ 小池 快士
- 大丈夫 君には僕らが ついてるよ 中川 泰史
- 見ぬふりを している人も いじめだよ 宮原 優来
- 思いやり みんながすれば 笑顔の和 徳島 鈴夏
- ガラスみたい 一度こわすと もどらない 山本 結月
- 悪口を 言うほど人生 暇じゃない 小瀬 一輝
- 考えよう 相手の心 何色か 長野 笑和
- 考えて その一言で 傷つくよ 國部 華生
- 見すごすな 心の悲鳴「助けて」を 福成 朱里
- ぼくじゃない その考えも 共犯者 米倉 颯太
- いじめは、いじめた人にかえってくる
だから、自分のためにも、他人のためにも
いじめをやめよう 川崎 愛美
- 友達を 一人にしないで 思いやり 原 優成

※紙面の都合上、1. 2年生は裏面に掲載しています。

授業研究の取組

12月には4回の研究授業が行われ、校外外の教職員の参観がありました。

その中で、3日(金)の1B 英語の授業は、三神地区のICT利活用教育の研究会も兼ねており、タブレット端末を使っての英語スピーチの発表や録音という学習方法に関心が集まっていました。

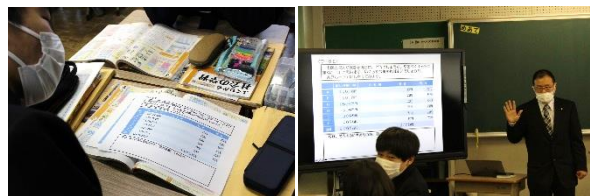


また、9日(木)の3B 社会科の授業は神埼地区の社会科教育研究会を兼ねており、「多様性と共生社会」を考える公民的分野の授業でした。新聞のお悩み相談に対するアドバイスを評価するグループ活動が仕掛けられていましたが、生徒は理由を添えて考える学習を真剣に行っていました。

租税教育の出前授業

12月21日(火)には柿本一義税理士事務所の白川税理士を講師にお迎えして、3年生を対象に租税教室を行いました。税の種類や仕組み、税理士の仕事、税金の使われ方など多くのお話をさせていただきました。

講義形式にならないようお願いしたところ、税金クイズ、アニメビデオ、税負担を決めるグループ活動など、生徒が主体的に考えられるような学習を仕組んでいただきました。生徒が積極的に取り組む姿が、多く見られました。



久しぶりの授業参観

12月22日(水)に各教科と道徳の授業参観を設定しました。本来は9月10日(金)に実施の予定でしたが中止したため、1学期以来の授業参観となりました。保護者にとっては、子どもの学校での様子を知る貴重な機会のため、多くの熱心な参観者があり、良かったです。



<人権標語 校内入選>

(2年生)

- 考えて じぶんがされて イヤなこと 筒井 美空
- 「助けてよ」 その一言で すぐ行くよ 嘉村 媛
- 見るだけでも いじめになるよ 助けよう 中山 允
- いじめだめ 自分の言葉に 責任を 藤井 沙羅
- 全員が 一人の心 大切に 陣ノ内 すみれ
- 気づいてる? 知らないうちに やってない? 原 優佳
- 考えよう その一言の その重み 鶴崎 生真
- いじめはね 見て見ぬ振りも 共犯だ 柿本 千宙
- 考えよう 相手の人権 大切に 倉谷 はる
- 考えよう みんな笑顔に なるために 安藤 由芽
- 今、止めよう 怖がる足を前に出し
傍観者にはならないで 中山 靖詞
- 言葉もね ときには人を きずつける 米光 惺矢

(1年生)

- なかまはずれにしない
かならず1人にしない
よくない事をしたらかえってくる
くるしいなら友達に相談しよう 泉 優太
- 気づいたら 声をかけよう 一声でも 中村 智亮
- 傷ついた 心は元にもどらない
だから気をつけよう ことだまに 吉村 彩芭
- いじめは 死につながる いやがらせ 柿添 紗季
- なぜやるの 小さなころから 習ったよ
やれば残るは 損しかない 井上 陽和
- みんな生きる権利がある 自分だけじゃなく周りを見て
みんな笑えるように 池田 和香
- いじめはね 一生なおらない 心の傷 湯川 愛音
- ダメ言葉 -(マイナス)言葉
自分がされていやなのはしてはいけない! 豊田 稟心
- 覚えてる? された方はずっと忘れられないんだよ
西村 成未
- 「助けてよ」 そう思える時に 救わなきゃ 中島 菜奈
- SOS 相手を助けたら 自分も助けられる 多良 悠来
- 治らない 心にささる 言葉の矢 香田 海人



<表彰 おめでとう>

○学童美術展 地区審査 平面部門 入選

- 1年 中村 奏 井上陽和 北嶋蒼一郎 井上輝琉
牧 日菜 中村太翼
- 2年 小西奏太 廣瀬結空 安藤由芽 筒井沙和
大園樹璃
- 3年 青木佑衣 田中大遥 小瀬一輝 筒井瑞妃
宮原優来

○学童美術展 県審査 平面部門 準特選

- 1年 中島菜奈 2年 久野双葉
- 3年 松尾咲耶 中村佑菜



○吉野ヶ里町少年の主張大会

- 1年 最優秀賞 井上陽和 優良賞 池田和香
- 2年 優秀賞 野中綾乃 優良賞 原 優佳

○神埼地区ものづくり教育フェア生徒作品コンテスト

- 特選 3年 福成朱里 朝長海翔
- 入選 3年 田中大遥 富田涼那 小瀬一輝
中島 弘道

○神崎市郡剣道段級別選手権大会

- 2級の部 準優勝 1年 井上陽和